

11月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手 石原 恭

行った主な活動

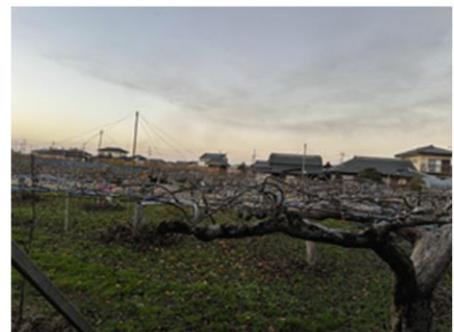
剪定

梨の樹の不要な枝を切り落とし、樹形を整える剪定作業を行った。枝の混み具合や全体のバランスを見ながら、翌年の生育や作業のしやすさを考えて枝を整理した。どの枝を残すかを意識しつつ、基本を確認しながら作業を進めた。



誘引

剪定後の枝について、棚に沿って適切な位置へ固定する誘引作業を行った。枝の向きや配置を考えながら、樹全体の形を整え、今後の管理や作業がしやすくなるようにした。



活動を行った感想など

去年に比べて、剪定において残す枝と切る枝の判断が早くできるようになり、作業全体の流れもつかめてきたと感じた。

誘引についても、枝同士の距離感や全体のバランスを意識しながら、無駄のない配置を考えて行えるようになってきた。太い枝の誘引では、切込みを入れてから捻るようにして曲げる必要があるが、こうした作業においても失敗することが減り、経験が積み重なっていると感じた。

今後の目標など

剪定と誘引について、判断の理由を意識しながら作業し、ただ作業をこなすだけでなく理解を深めていきたい。

